

令和5（2023）年度 児童館事業年間活動報告書

＜様式10-1＞  
唐橋児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基 本 子 ど も 育 成 機 能	けん玉クラブ	24		5	542	2	15		1					565	検定や自分の最高記録に挑戦として一つの技を連続何回続けられるか等、自身の技術向上を目指す。2月に館内大会。	検定ではお互いに技のポイントを教えあう姿が見られた。技が苦手な人も、もしかめの自己最高記録に挑戦するなど楽しんで参加していた。
	将棋クラブ	20	1	13	252	1	16							285	本将棋、山崩し等をする。将棋のルールやマナーを学び、楽しむことを目的としている。	本将棋だけでなく、はさみ将棋や山崩しの遊び方もできるようにしたので、あそびも広がった。
	おもしろ研究所	24		42	1068	17	98							1225	身近にある工作クラブ。内容は「キラキラモールのキーホルダー」「ハロウィンスデッキ」「ボイスチェンジャー」等。	毎月いろんな工作があることで興味をもって参加していた。楽しく工作ができた。
	エコのとりくみ	6		2	186	1	19	1						209	エコについての〇×クイズ、工作をする。	くりかえし環境について学習することで、エコについての理解が深まった。
	オニムクラブ	10		19	28	18	17							82	オニムゲームの遊び方やルールを学び、技術向上を目指す。オニム検定を実施。9月に第2ブロックの児童館との大会。	オニム検定や大会があることで、子どもたちの意欲も高まり、技術向上につながった。
	卓球しよう	11		3	23	9	12	4						51	遊戯室に卓球台を2台だして、自由にラリーや試合ができるようにする。	特に卓球をしたことのない低学年の子に、卓球の楽しさ等知ってもらえた。
	卓球クラブ	11				18	3	1						22	小学5、6年生を対象としたクラブ。子ども同士の対戦を見守り、技術向上を目指す。3月におたのしみ会。	高学年中心のクラブということもあり、職員が指示を出さなくても自分たちで進行やスケジュールを組み立てることができていた。しかし5・6年が対象ということで参加者が少ない。
	唐橋児童館で赤ちゃんと交流しよう！	6	34						9	33			3	79	中学生が児童館に来館し、おむつの吸水実験やプールあそびを通して、赤ちゃんについて理解を深める。実際に乳幼児親子と交流する。	交流については中学生・乳幼児親子からも好評だったが、交流しない回はハードルも高いのか、参加がほぼない。来年はかたちを変え、よりよいものとなるよう工夫したい。
	オセロ週間	5			191		14							205	放課後、遊戯室の半分を使用してオセロの遊び方、楽しさを広めた。子どもたちが楽しく対戦を重ねられるようチャレンジカードを使い、勝っても負けてもシール1枚、10枚たまるとごほうびシールがもらえるというシステムとした。大会に向けてメダルの展示を行う。	学年に関係なく楽しんで対戦をすることができた。対戦ごとにシールがもらえるシステムは好評だった。
	オセロ大会	1		9	3	1								13	くじで番号を引き、トーナメントで対戦を行う。上位3名にはメダルと賞状の贈呈をする。	参加者は最後まであきらめずに対戦を続けられていた。約束事等もしっかりと守り気持ちよく大会を進められた。
	キッズマーケット	2		13	160	12	18						14	217	お買い物ごっこを通して、買い物の疑似体験をする。館内のコーナー（駄菓子10円・駄菓子20円など）をまわりながら、100円分の金券でお友だちと買い物を楽しむ。食べることはせず、買い物のみ。	子どもたちが楽しみにしている人気行事。お友だちと一緒にコーナーをまわってお買い物することで、学童クラブと自由来館児童との交流の機会にもなった。買う内容を考えることで、買い物の経験もできた。
	マンカラ週間	5			203	2	22							227	放課後、遊戯室の半分を使用してマンカラの遊び方、楽しさを広めた。子どもたちが楽しく対戦を重ねられるようチャレンジカードを使い、勝っても負けてもシール1枚、20枚たまるとごほうびシールがもらえるというシステムとした。大会に向けてメダルの展示を行う。	ルールを知らない子が多数いたが、何回かするうちに覚え、学年を問わず対戦を続けていた。対戦時間も短く、普段遊ばない子ども同士が対戦する等子どもたちの交流を深めることができた。
	マンカラ大会	1		23	6	2	1							32	くじを引いて、A～Dの4つのリーグに分かれ、各リーグ上位1位がトーナメント戦をする。上位3名にはメダルと賞状を寄贈する。4位には参加賞を2つ渡す。	約束などしっかりと守り、お互い応援しあう姿がみられた。
防災フェスタ	1	2	14	11		3						11	41	あそびや体験を通して、子どもたちに防災の大切さと災害から自分の身を守る方法を考えてもらった。（水消火器・大判ハンカチ・持ち出し品クイズおたま劇場）	体験を通して災害について楽しく学ぶことができた。	
逃走中～ベビィたちを守り抜け～	1	1	18	6	14	2						13	54	マリオをテーマに逃走中。ミニゲームコーナーを楽しんだあと、しっぽ取りでハンターから逃げる。しっぽの数が多い人から景品がもらえる。	参加者全員が楽しめるイベントになった。9月なのでまだ暑さ対策が必要。	
逃走中～ちいかわミッション～	1		26	5	6	1						6	44	逃走中と流行のアニメを合体させ、各コーナーをまわりミッションをクリアしていく。最後最終ミッションとして逃走中を楽しむ。	逃走中だけが走るだけではなく、ミッションも楽しむことができた。	

	千支のはりえ	1		3	15	9	1					28	和紙や千代紙を使用して、束年の千支をデザインしたはりえをつくる。別にはりえを用意して、図書室・遊戯室に飾る。	工作材料をセットしておいたので、スムーズに作業ができた。オリジナルのはりえ作りを楽しむことができた。	
	こま週間	10		3	250		19	1				273	放課後、遊戯室全体を使用してこま遊びができるようにセッティングする。缶、箱も用意して、検定や大会に向けての練習をした。	楽しみながら練習することで技の向上にもつながった。子ども同士で教えあう姿も見られた。	
	こま検定	2			39		2					41	こま週間中に練習した技を検定で挑戦し、合格を目指す。検定は昨年度の成績を引き継ぐことができる。検定終了後は検定証、段をクリアした人には金のこまを贈呈する。	検定をきっかけに、自信をつける良い機会になった。難しい技になっても何度も検定に挑戦する等、意欲的な子が多かった。	
	こま大会	1		8	3	2	1					14	リーグ戦でこままわしのタイムを競う。上位3名にはメダルと賞状の贈呈をする。	参加者は最後まであきらめずに対戦を続けられていた。約束事もしっかりと守り気持ちよく大会を進められた。	
	合 計	143	38	201	2991	114	264	17	79	0	0	3	3707		
推 進 活 動	ゆずります！もらいます！	随時												子ども用品・子育て用品の交換を仲介する。	今年度利用なし。
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能 合 計	143	38	201	2991	114	264	17	79	0	0	3	3707		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。